

来月の消費予報

秋の行楽への意欲が高まらず、消費意欲指数は11月としての過去最低水準に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

11月の消費意欲指数は46.7点。前月比+0.2ポイント、前年比-1.4ポイントと、前年からはマイナスとなりました。

11月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+0.2 ポイント

-1.4 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリ別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(11月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

11月のポイント

Point 1 : 消費意欲指数は伸び悩み。背景に異常気象も影響か

11月の消費意欲は、11月としての過去最低値だった2016年(46.8点)と並ぶ過去最低水準となりました。11月は1年で最も意欲が高まる年末年始を控え、指数が高まりにくい月ですが、消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「意欲はあるが今は様子見」の声が前年よりも増えた(17年11月86件→18年11月99件)ほか、特に買いたいモノ・利用したいサービスの内訳を見ても、「旅行」(前年比-43件)、「レジャー」(前年比-22件)、「外食」(前年比-36件)など、秋の行楽に関係するものが大幅に減少しています。

背景には、異常気象の影響もうかがえます。消費意欲指数の理由のうち、秋口の「季節の変わり目の買い物」は例年10月がピークで、11月には減少する傾向がありますが、今年は10月より11月の方が若干多くなっています(18年10月21件→18年11月26件)。夏の猛暑の後もなかなか涼しくならず、季節がずれこんだことの影響が感じられます。

なお、先月から出始めた「消費税増税」を懸念する回答は、今月も14件挙がっています(17年11月4件→18年10月18件、18年11月14件)。

Point 2 : 女性は4年連続の50点台も、男性のセーブ意識は緩まず

9月以降の男女の動きは対照的なものとなっています。9月は男女とも消費意欲指数が落ち込みましたが、男性がその後も低下しているのとは逆に、女性は上昇を続け、今月は11月としては4年連続の50点台となっています。

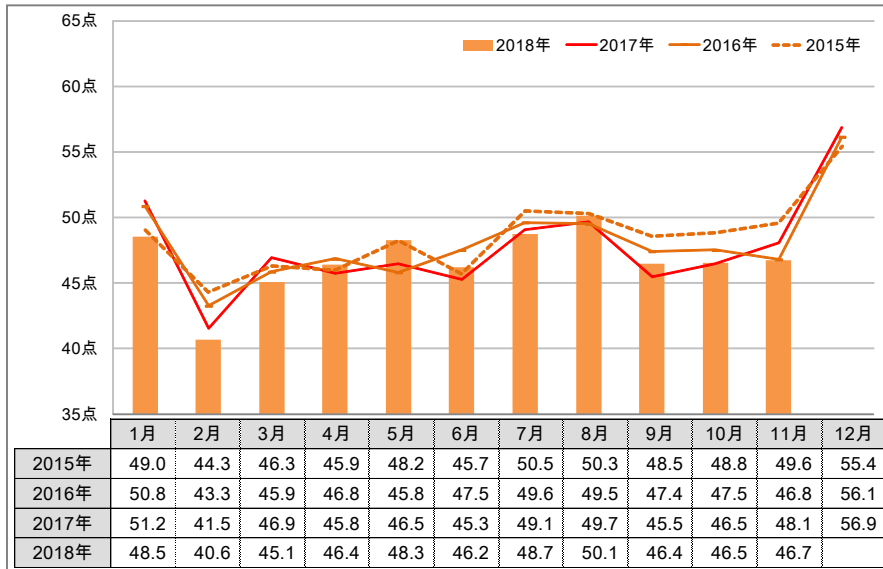
消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「今月までに多く使った反動でセーブ」という声が、女性では徐々に減少しているのに対し(9月95件→10月69件→11月32件)、男性では変化が少なく(9月57件→10月46件→11月41件)、男性はセーブ意識を緩められないようです。

消費意欲指数

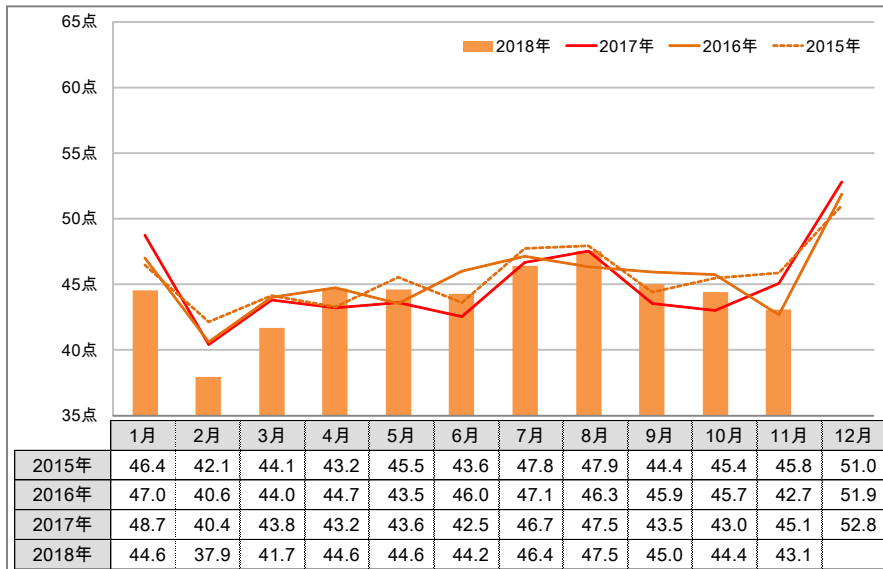
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

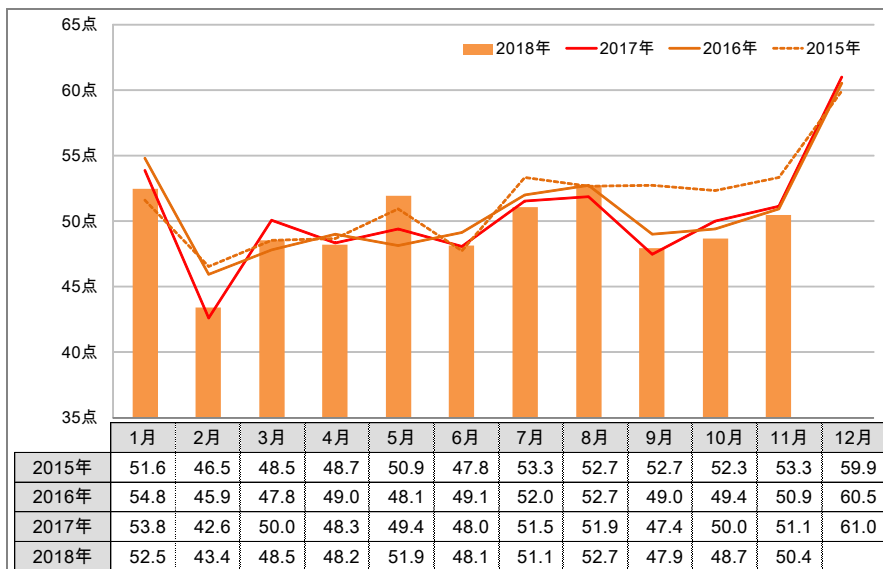
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節的な出費への意欲／季節の変わり目の買い物がしたい】>

- ・冬に向けて購入したいものが多い(70点・男性23歳・愛知県)
- ・秋だし色々と買いたい(60点・男性31歳・埼玉県)
- ・食事が美味しい季節だから(80点・男性40歳・愛知県)
- ・年末を控えているから(80点・男性58歳・大阪府)
- ・紅葉のシーズンなので旅行がしたい。そして素晴らしい風景を写真に収めたい(80点・男性68歳・大阪府)
- ・服では秋服が出たり衣替えをする時期なのと、化粧品などはコフレなどが発売になるから(80点・女性22歳・愛知県)
- ・涼しくなってきた秋冬の洋服を買いたくなったから(80点・女性33歳・埼玉県)
- ・季節の変わり目なので、冬の服が欲しい。寒くなるので室内の遊びにお金がかかる(80点・女性40歳・兵庫県)
- ・秋冬物の洋服や靴を買いたいと思うから(80点・女性59歳・千葉県)
- ・季節が変わり、服装も秋冬物が目立っているのほしいと思う。暑さもおさまったので外にも出たい(75点・女性68歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(11月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2018年11月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.3	-0.6	-2.5
男性	23.7	-1.0	-2.8
女性	31.0	-0.2	-2.1

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(410人)

参考:男性(179人)

参考:女性(231人)

順位	カテゴリー	11月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	230	+28	-7
2	外食	158	-12	-36
3	食品	142	-33	-32
4	旅行	137	-35	-43
5	書籍・エンタメ	108	-15	-15
6	化粧品	104	-4	-16
7	飲料	102	-26	-19
8	理美容	97	-13	-8
9	レジャー	92	-27	-22
10	家電・AV	90	-4	-3
11	装飾品	81	+19	+10
12	日用品	76	+2	-25
13	インテリア用品	52	±0	-21
14	パソコン・タブレット・周辺機器	51	±0	+5
15	スマートフォン・携帯電話	47	±0	+3
16	車・バイク	43	+1	+12

順位	カテゴリー	11月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	70	+8	-3
2	外食	69	+5	-1
3	旅行	68	-9	-14
4	食品	58	-7	-6
5	家電・AV	52	-7	-3
5	書籍・エンタメ	52	-20	-5
7	飲料	47	-4	-1
8	レジャー	38	-11	-11
9	パソコン・タブレット・周辺機器	34	-6	+3
10	装飾品	31	±0	+4
11	車・バイク	29	-2	+8
12	スマートフォン・携帯電話	25	-7	-4
13	日用品	22	-4	-7
14	理美容	20	-5	-2
15	インテリア用品	19	-1	-3
16	化粧品	8	-5	-3

順位	カテゴリー	11月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	160	+20	-4
2	化粧品	96	+1	-13
3	外食	89	-17	-35
4	食品	84	-26	-26
5	理美容	77	-8	-6
6	旅行	69	-26	-29
7	書籍・エンタメ	56	+5	-10
8	飲料	55	-22	-18
9	日用品	54	+6	-18
9	レジャー	54	-16	-11
11	装飾品	50	+19	+6
12	家電・AV	38	+3	±0
13	インテリア用品	33	+1	-18
14	スマートフォン・携帯電話	22	+7	+7
15	パソコン・タブレット・周辺機器	17	+6	+2
16	車・バイク	14	+3	+4

<全体にのみ下記基準で色付け>

- オレンジ:前月比/前年比で20人以上増加
- 青:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(11月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	149	190	147	144	754
女性	119	145	186	144	152	746
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2018年10月4日(木)～9日(火)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・夏山) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2018-11/>)からダウンロードしていただけます